

「小栗判官伝承関係資料一括」推薦文

この度、藤沢市指定文化財として推薦する文化財は、「小栗判官伝承関係資料一括」である。この資料一括は藤沢市西富の時宗寺院である長生院（藤沢市西富一丁目9番27号）所蔵の資料群である。長生院は、時宗総本山藤澤山無量光院清浄光寺（正中二年（1325）遊行四代吞海上人開山、藤沢市西富一丁目8番1号、以下遊行寺）の塔頭であり時宗十二派のうち遊行派に所属していた。古来は遊行寺山内の閻魔堂である。永享年間（1429-1441）に小栗満重の妻となった照手が遊行十四代太空上人に帰依した後に閻魔堂に入住し小栗満重と十勇士を供養したことから小栗堂と称された。

「小栗判官伝承関係資料一括」の構成要素は、長生院が所蔵する小栗判官伝承に関する資料は以下の品々である。

木造寄木造小栗満重坐像1軀、金銅造照手身代正観音像1軀（厨子付属）、木造寄木造遊行十四代太空上人坐像1軀、照手所持古鏡1枚、崇寧通宝1枚、鉄製鬼鹿毛鏡1具、鉄製鬼鹿毛轡1具、紙本墨書小栗小伝1巻（文化8年/1811）、紙本墨書小栗略縁起1巻（文化8年/1811）、紙本墨書小栗縁起1巻、紙本墨摺鬼鹿毛名馬像1軸、紙本淡彩長生院寿佛房之眞影1軸、紙本著色小栗満重十勇士像1軸、『小栗畧縁起』版木4枚（表紙及び境内図は銅版、その他は木版）、『小栗畧縁起』版木1枚（木版）、『小栗伝』版木1枚（木版）、『小栗一代記略図』版木1枚（銅版）、『小栗一代記略図』版木1枚（天保15年/1844）、『小栗判官平満重朝臣卅八歳蘇生之眞影・長生院寿佛房之眞影』版木2枚（木版）、『蚕養安全鬼鹿毛名馬像』版木1枚（木版）以上である。

さて、小栗判官とは、中世から近世にかけて流行した語りもの文芸の一つ説経節「をぐり」や浄瑠璃「当流小栗判官」などに登場する主人公小栗満重を指す。小栗伝承は茨城県筑西市の常陸小栗氏をはじめ神奈川県内、藤沢市西俣野、相模湖町や城山町、岐阜県大垣市や垂井、熊野湯ノ峰など複数あるが、伝承の中心は長生院を中心とした小栗伝承である。また小栗満重は『鎌倉大草紙』に登場する実在の人物でもある。ここで小栗伝承を長生院に伝わる『小栗畧縁起』を基本として紹介する。鎌倉公方であった足利持氏に謀反の疑いをかけられた常陸國小栗城主であった小栗満重と家臣十名は、落ち延びる途中、相模国藤沢宿の近くで、豪族横山太郎邸に身を寄せる。横山は馬術の達人と称された満重に対し人食い馬とされる鬼鹿毛を乗りこなせるか試されるが見事乗りこなしてしまう。そこで毒殺を謀る横山であるが、訳あって横山亭に身を寄せる照手が満重にその旨を伝える。しかし、照手の懸命な配慮も空しく、満重と十勇士は毒殺され金品を奪われる。上野ヶ原に投げ捨てられ冥府におちた満重は、十勇士の嘆願を聞き入れた閻魔大王の慈悲と、夢告に導かれた遊行十四代太空上人の元に餓鬼阿弥として復活。土車に乗せられ、時宗立教開宗の地である熊野の湯ノ峰温泉へと送られる。湯ノ峰温泉のつぼ湯で湯治し蘇生を遂げた満重は、都で謀反の疑いを晴らした後に横山を討伐、照手姫との再会を果たす。満重は太空上人の慈悲により焰魔堂に入り応永33年3月16日（1426）往生した。（戒名：重巖院満阿弥陀弥陀佛）その後に満重子息である助重も藤澤山に入り満重と十勇士の墓碑の隣に住まい菩提を弔った。永享元年（1429）照手は太空上人に帰依し長生比丘尼として閻魔堂入り満重主従を供養した。照手は閻魔堂の隣に厄除地藏三軀を建立したとされる。照手

は永享12年10月14日（1440）往生した。（戒名：長照院壽佛坊）焰魔堂に併設された堂宇は後に長生比丘尼の名をとって長生院と称されるようになった。この伝承を今に伝えるのが『小栗畧縁起』であり、天保12年（1841）発刊の『新編相模国風土記稿』に記載される長生院解説は『小栗畧縁起』の内容を転載使用している。『小栗畧縁起』が小栗伝承の主軸となり流布していた事がうかがい知れる。そして長生院には『小栗畧縁起』などに記載される由縁の品々や伝承にまつわる資料が現在に大切に伝えられたのである。ここで「小栗判官伝承関係資料一括」構成要素箇条一覧を示し簡潔に解説する。

木造小栗満重坐像 1 軀

木造彩寄木造 江戸前期 像高62.5cm 巾73.5cm 奥行44.5

右手に笏、左腰に太刀を佩く束帯姿の満重像である。『小栗畧縁起』には満重三十八歳の時に自作の像となっている。

金銅照手身代正観音像 1 軀

金銅造 江戸前期 像高62.5cm

照手姫念持仏とされる金銅製観音像 台座は香木で岩坐型に造られる。付属厨子有

木造遊行十四代太空上人坐像 1 軀

木造彩寄木造 江戸時代

遊行寺では小栗満重及び照手は遊行十四代太空上人の弟子となり出家したとされる。

『小栗畧縁起』では、餓鬼阿弥となった小栗を閻魔から引き受けた遊行上人である。

照手所持古鏡 1 枚

照手姫所持の八葉鏡である。小枝繁編葛飾北斎画『小栗外伝三編』文化11年（1814）に挿絵と共に「八陵の鏡又名唐鏡」と記載される。

崇寧通宝 1 枚

照手姫が所持していたとされる中国古銭である。小枝繁編葛飾北斎画『小栗外伝三編』文化11年（1814）に挿絵と共に記載される。

鬼鹿毛鏡 1 具

鉄製 室町時代 全体に錆はあるが形は良く保持されている。鏡は左右別仕立となる。

鬼鹿毛轡 1 具

鉄製 室町時代 鏡に近い時代のものであろう。

小栗小伝 1 巻

卷子 紙本墨書 文化8年（1811）1巻 縦28.1cm 長257.8cm

奥付に「鎌倉 前莊巖左学頭海雄筆 長生院現住 東陽院丹那慈尊代」とある。

小栗略縁起 1 巻

卷子 紙本墨書 文化8年（1811）1巻 縦31.5cm 長274.4cm

奥付に「東陽院但阿慈尊識著」とあり、続いて十勇士の俗名と戒名が記載される。

小栗縁起 1 巻

卷子 紙本墨書 江戸時代 1巻 縦27.0cm 長80.0cm

鬼鹿毛名馬像 1 軸

掛軸 紙本墨摺 江戸時代 1軸 縦22.9cm 横30.1cm 中央に朱印有

長生院寿佛房之眞影 1軸

掛軸 紙本淡彩 江戸時代 1軸 縦101.0cm 横37.7cm

小栗満重十勇士像 1軸

掛軸 紙本著色 江戸時代 1軸 縦100.1cm 横43.0cm

『小栗畧縁起』版木 4枚

表紙版木 銅版 昭和17年 縦17.4cm 横9.2cm

木製台座に銅版 裏面に「昭和十七年新調」とある。

境内図版木 銅版 縦19.4cm 横12.0cm

木製台座に銅版 表紙版木と同様の造りであり、昭和17年に新調されたものか。

本文版木（両面） 縦22.4cm 横30.6cm

木製、両面に本文が刷られる。本文は摩滅が多い。

本文版木（両面） 縦22.2cm 横31.0cm

木製、両面に本文が刷られる。本文は摩滅が多い。

上記4枚から摺られる『小栗畧縁起』は木版最終版となり、以後活版印刷本となる。

『小栗畧縁起』版木 1枚

本文版木（両面） 縦24.4cm 横34.1cm

木製、両面に本文が刷られる。本文は摩滅が多い。木版最終版の前のものか。

『小栗伝』版木 1枚

木製版木（両面） 縦24.1cm 横34.8cm

両面に本文が刷られる。本文は摩滅が多い。『小栗畧縁起』とは別版。

裏面「小栗判官平満重朝臣卅八歳蘇生之眞影」有

『小栗一代記略図』版木 1枚

銅版 縦28.8cm 横39.6cm 木製台座に銅版が貼られる。

『小栗一代記略図』版木 1枚

木製 天保15年6月（1844） 縦28.8cm 横39.6cm

裏面に「天保十五年六月口生院三十八世實應代 新版 黒瀬口信真刀」とある

『小栗判官平満重朝臣卅八歳蘇生之眞影・長生院寿佛房之眞影』版木 2枚

小栗判官平満重朝臣卅八歳蘇生之眞影版木 木製 縦24.9cm 横17.4cm

長生院寿佛房之眞影版木 木製 縦24.7cm 横17.2cm

『蚕養安全鬼鹿毛名馬像』版木 1枚

木製 縦15.9cm 横25.8cm

裏面に「明治二十一年焼香七月十八日」とある

以上、小栗伝承に関連した「小栗判官伝承関係資料一括」の概略である。これらは各地に伝承された小栗伝承の根幹となるものであり、歴史的・国文学的にも貴重な品々である。藤沢市の文化財として内外に誇れる資料群であるため、ここに「小栗判官伝承関係資料一括」を藤沢市指定文化財として推薦するものである。

令和5年7月24日

遊行寺宝物館 館長

遠山 元浩

「小栗判官伝承関係資料一括」 参考画像



■木造小栗満重坐像 1 軀



■金銅照手身代正観音像 1 軀





■木造遊行十四代太空上人坐像 1 軀



■照手所持古鏡 1 枚



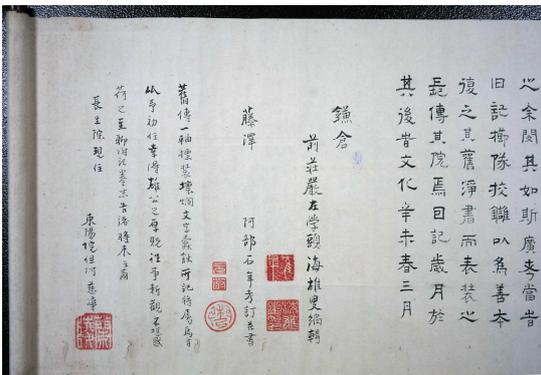
■崇寧通寶 1 枚



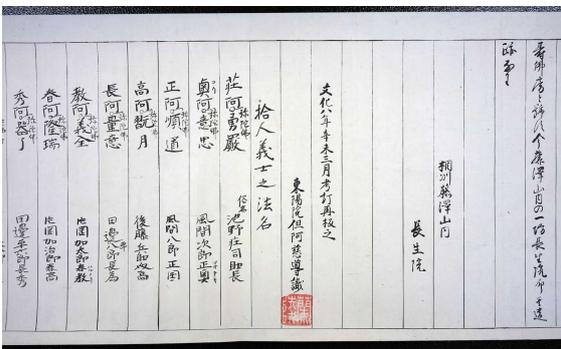
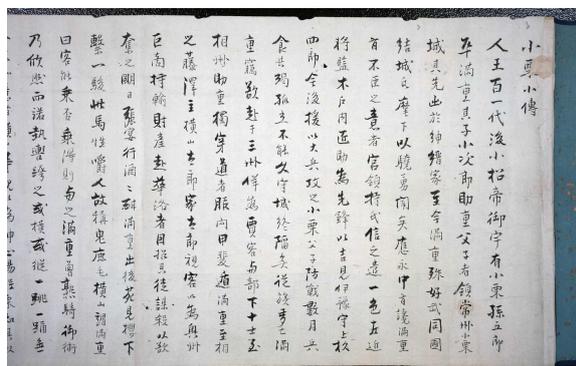
■鬼鹿毛鏡 1具



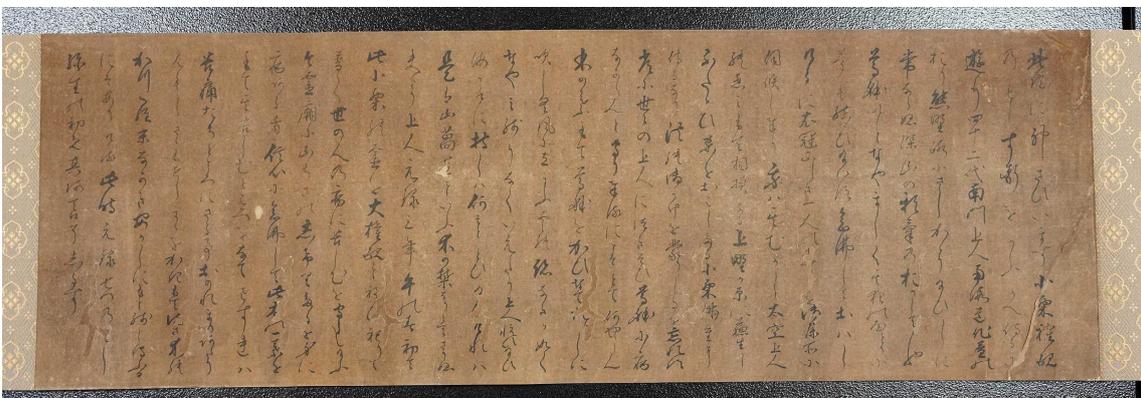
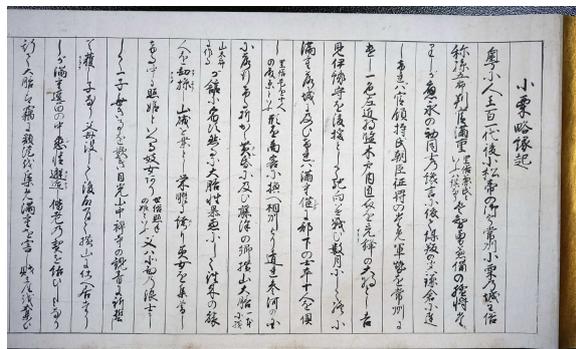
■鬼鹿毛鬘 1具



■小栗小伝 1卷



■小栗略縁起 1卷



■小栗縁起 1卷



■鬼鹿毛名馬像 1軸



■長生院壽佛房之真影 1軸



■小栗満重十勇士像 1軸



表紙



長生院境内図



本文1 (表・裏)



本文2 (表・裏)

■ 『小栗畧縁起』版木 4枚



■ 『小栗畧縁起』版木 1枚



■ 『小栗伝』版木 1枚 (裏面「小栗判官平満重朝臣卅八歳蘇生之眞影」)



『小栗一代記略図』版木 1枚 (銅版)



■『小栗一代記略図』版木 1枚 天保15年6月(1844)



■『小栗判官平満重朝臣卅八歳蘇生之眞影・長生院寿佛房之眞影』版木 2枚



■ 『蚕養安全鬼鹿毛名馬像』版木 1枚